

【空飛ぶ未来を拓くドローンワールドプロジェクト】

令和7年度
高校生ドローンコンテスト
ルールブック

主催：長崎県

1. コンテスト概要

目的

ドローンのスキルを競うことにより、県内高校生のドローンスキルの向上を図るとともに、県内高校のドローンの取組を普及する。

時

令和7年12月25日(木)13:00~17:00

場 所

シーハット大村 サブアリーナ
(大村市幸町25-33)

对象

長崎県内の高校に在籍する高校生 (学年問わない)

1 チーム：1 ~ 3名まで



駐車場利用可：無料

2. レギュレーション

部門

【アイデア部門】【操縦部門】【プログラミング部門】の3部門
チーム

各部門ともチーム単位での参加。1チームあたり1～3名とし、同じ学校
単位でのチームとすること。

エントリーについて

- ・重複してエントリーすること可能。1チーム2部門まで。
- ・各部門最大10チームまでとし、10チーム以上の応募があった場合は
選考を行う。（操縦部門のみ15チーム上限）

賞品

- ・各部門とも上位3チームには賞状を贈呈する。
- ・優勝チームには、景品としてトイドローン（1人1台）を贈呈する。



3. 【アイデア部門】

ドローンを活用した「町おこし」や「地域・社会課題の解決」、「学校の魅力向上」のアイデアを考え、その内容を競う。



発表時間：発表 5 分 + 質疑応答 5 分 = 計 10 分

発表資料：パワーポイントにより制作すること

審査員：3 ~ 5 名程度

審査項目：
(1)新規性・革新性・優位性
(2)実現可能性
(3)表現力

アイデアの例

町おこし ドローンdayとして、地域のいろんなところでドローンの体験やショーが実施されるお祭りの開催

地域・社会課題 顔認識機能を搭載して、迷子の捜索

学校の魅力向上 学校を空撮した映像によるカレンダー制作 など

4. 【操縦部門】

制限時間内にドローンを操縦して、指定されたコースを飛行して得点を競います。

制限時間：2分程度

使用機体：DJI Tello

同等品であれば各学校で使用しているトイ（プログラミング）ドローンを使用することも可能。事前に相談すること。

コントローラー：スマートフォン

各学校で使用しているコントローラーを使用することも可能

コース：2週間前を目途に参加者に発表します。



5. 【プログラム部門】

事前に提示するコースをもとに、プログラムを組んだ
ドローンを自律飛行させ、課題の達成度を競います。

使用機体：DJI Tello

同等品であれば各学校で使用しているトイ（プログラミング）
ドローンを使用することも可能。事前に相談すること。

コースについて：開催の1か月前に参加チームにお知らせします。なお、一部
区間は当日発表で、当日プログラムを組んでいただきます。
(コースは、前後 + 上下 + 左右のプログラムの組み合わせで
クリアすることができます)

プログラミング言語：Python

スクラッチは不可。当日は生成AIを用いて、
プログラミングを組むことも可能です。

